

## 留学報告書



今回、私は**北欧の国フィンランド**へ二週間、短期留学を行いました。私の留学の目的は、教育の最先端を誇るフィンランドの教育現場を実際に訪れ、より新しい教育のシステムを学ぶことでした。

この目的を達成するため、まず私はフィンランドでホストマザーとフィンランドの最近の教育事情についてや日本の教育体制についてディスカッションを行い、両国の教育の相違点を見つけ出しました。そして、現地の小学校に翻訳者の方と二人で訪問し一日見学させていただきました。

フィンランドを訪れる前に私はフィンランドについて、またフィンランドの教育についてできる限り自分で調べ知識を蓄えた上で自分

の気になること、知りたいことを書き出しておきました。また、クラスの友達や先生方にアンケートを行ったり、小学校教諭である母の話、中学校の先生や高校の先生の話の聞いたりして、より日本と比較しやすいように下準備をしました。

今回の私の留学を一言で表すと「答え合わせ」です。自分が調べたことが正解だったのか、自分の想像していたフィンランドは間違っていなかったのか、たくさん下調べをしたからこそ密度の高い答え合わせができたと思います。

もちろん、教育以外に惹かれ、体感したかったことがたくさんあります。たとえば、「幸せの国」と言われている理由、森と海、たくさんの湖、きれいな水、おいしい空気、北欧デザイン、。。。。。



フィンランドは本当に素敵な国です。自然に囲まれ、国民は自国に誇りを持ち人との交わりを大切に生き、普段は静かに生活をして

いますが、お祭りや行事ごとになると大いに盛り上がります。二週間、この国で生活してみてフィンランドの国民性、文化、全てが大好きになりました。同時に「幸せの国」と言われているのに間違いはないことを実感しました。

感受性が高いこの時期に他国で生活したくさんの刺激を受けることができたこと、またこの留学のために頑張ってきたことは将来必ず自分の役に立つと思います。この留学を自分の一つの自信に変えこの先の受験、また社会生活を送りたいとおもいます。



私が実際にフィンランドの小学校を訪れ、実際の教育現場を訪れたうえで気づいたことを二つ紹介します！

まず、フィンランドが教育水準第一位を誇るのには学校の教育方針だけが理由ではないということです。フィンランドで生活してみ

て、フィンランド人の読書量が非常に多いこと、フィンランド人であることに誇りを持っていること、生活のすぐそばに緑や湖大きな空があることで、リラックスできる環境それらすべてがその理由なのではないかと考えました。また、福祉に特化したフィンランドであるからこそ親へのサポートが手厚く、子供も大人もストレスなく過ごせ、子供の、のびのびした学習への取り組みつながっているのではないかと思います。

次に、日本の教育は全く劣っていないということです。フィンランドを訪れるまで、私は日本の教育の悪いところばかりに注目してしまっていました。しかし、フィンランドの小学校の先生にインタビューしてみて、日本には平和学習や道徳学習といった誇るべき特色があることに気づきました。また、学習スタイルは少し違っても、掃除時間や係活動、家庭訪問など子供たちの自主性やストレスを軽減する取り組みが行われています。そして2020年の教育改革に向けて新しい取り組みが行われていることもわかりました。

この貴重な経験を将来日本の教育をよりよくしていくためのヒントとして大切にしたいと思います。今後、大学では教育学部に進学し日本の教育の歴史や特徴について学んでいく予定です。そして

また、新しい発見をするためフィンランドに再び留学し日本とフィンランドの教育の架け橋になりたいと思います。

二週間の留学を終え、このような機会を与え、サポートしてくれたすべての皆様に感謝しています。



3年9組 梶原 万陽瑠